

平成30年度小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町
地域障害者自立支援協議会 事業報告

1 全体会

開催日・場所	議題・概要
第1回 平成30年6月26日(火) 13時30分～15時 小田原市生涯学習センター けやき大会議室	(1) 平成29年度自立支援協議会事業報告及び決算について (2) 平成30年度自立支援協議会事業計画及び予算について (3) 平成29年度障害福祉サービス等の利用状況について (4) 平成29年度委託相談支援事業について
第2回 平成31年3月27日(水) 13時30分～15時 小田原市生涯学習センター けやき第2会議室	(1) 相談支援体制の再編成について (2) 平成30年度自立支援協議会事業報告及び決算見込について (3) 平成31年度自立支援協議会事業計画(案)及び予算(案)について (4) 平成30年度委託相談支援事業について

2 運営会議

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 平成30年4月17日(火) 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>(1) 今年度の全体会及び部会について (2) その他</p> <p>➤ 平成30年度は毎月第3火曜日にクローバー会議を実施し、6,9,12,3月は運営会議を同日に行う。</p>
<p>第2回 平成30年6月19日(火) 18時～18時30分 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>(1) 全体会について (2) その他</p> <p>➤ 自殺対策関連事業の協力について ➤ 圏域ナビゲーションの予定について</p>
<p>第3回 平成30年9月18日(火) 18時～18時45分 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>(1) 各部会の進捗状況について (2) その他</p> <p>➤ 足柄上地区の協議会の動きについて ➤ 就労定着支援について ➤ 自立生活援助について</p>
<p>第4回 平成30年12月18日(火) 18時～19時 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>(1) 各部会の進捗状況について</p> <p>➤ 第5回運営会議で各部会の平成31年度事業計画を確認する。</p> <p>(2) その他</p> <p>➤ 圏ナビから研修情報等について周知。</p>
<p>第5回 平成31年3月12日(火) 19時～20時 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>(1) 各部会の進捗状況及び来年度の計画について (2) 全体会について (3) 来年度の運営会議等について (4) その他</p>

3 専門部会

◎相談支援部会

部会長・相談支援センターういず 近文字

【1市3町自立支援協議会】

開催日・場所	議題・概要
第1回 平成30年6月19日(火) 18時30分～20時 おだわら総合医療福祉会館 会議室	(1) 年間スケジュールの確認 (2) 委託相談支援事業の契約内容等の確認 (3) 委託相談支援事業の事業内容について意見交換 ▶ 委託相談支援事業の仕様書のうち「事業内容」について、各事業の「できていること」「できたら良いこと」をあげた。あげられた意見のうち特に興味を持ったものについてシールを貼り、意識の方向性を探った。
第2回 平成30年7月17日(火) 18時～19時30分 おだわら総合医療福祉会館 会議室	(1) 前回の振り返り (2) 「できたら良いこと」の掘り下げと具体的検討 ▶ 必要な情報収集と発信をできたら良い、特定相談支援事業所の支援体制ができると良い、専門的な内容については適切な相談場所にスムーズにつなげられる体制が必要、スタッフの専門性の共有化が必要、成年後見制度の利用支援への取り組みができると良いなどがあげられた。 (3) 部会のスケジュールについて ▶ 9月に視察ができるように調整を行うこととした。
第3回 平成30年8月21日(火) 18時～19時45分 おだわら総合医療福祉会館 会議室	(1) 前回の振り返り (2) 3層構造(基幹、委託、指定特定)の役割分担を考える① ▶ 基幹相談支援センター連絡会の資料を共有。 ▶ 想定事例を通して3層構造の役割分担や連携体制を検討。指定特定が困り感を相談するのは基幹、障がい者やその家族からの相談は委託が中心になって受けていく。自立支援協議会の運営は行政と基幹が中心になって行うが、中心となるのは基幹ではないかという意見などがあげられた。
第4回 平成30年10月9日(火) 14時～16時 厚木市障がい者基幹相談支援センターゆいはあと	厚木市障がい者基幹相談支援センターゆいはあと見学 ▶ 一般相談も受けており事業所支援などがなかなかできていないが、毎月開催している相談支援事業所連絡会等を活用し指定特定相談の意見を聴取している。また、地位生活支援拠点について「安心安全プラン」の利用方法等についての状況を教えていただいた。
第5回 平成30年10月16日(火)	(1) 厚木市の視察及び藤沢市講演について共有 (2) 3層構造(基幹、委託、指定特定)の役割分担を考

<p>18時～19時30分 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>える②</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「一般相談」「個別ケース」「困難ケース」「事業所支援」「地域づくり」などのキーワードをあげて、3層構造の役割分担について検討した。 ➤ 検討の結果、基幹相談は個別ケースを原則持たず、主に支援者に対する後方支援や地域づくりを中心に行う、委託相談は主に個別ケースに対する支援を行うことが整理された。
<p>第6回 平成30年11月20日(火) 18時30分～20時 おだわら総合医療福祉会館 会議室</p>	<p>(1) 3層構造(基幹、委託、指定特定)の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 今までの検討内容をまとめたものについて確認した。 ➤ 基幹が「受け止め、繋いでいく」役割、事業所支援では相談支援事業所連絡会のような場を作ることや、計画相談の促進なども重要な役割になるなどの意見があげられた。 <p>(2) 相談支援体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 委託相談の地区別配置について、地域との結びつきを強めることは理想的である一方で地域の広さなどで課題も大きいという意見などがあげられた。
<p>第7回 平成30年12月21日(金) 13時30分～15時 小田原市役所 601 会議室</p>	<p>『相談支援体制のあり方についての意見交換会』 ～指定特定事業所の声を聴く～</p> <p>(1) 基幹相談支援センター等について、相談支援体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1回～6回までで検討してきた内容等を周知。 <p>(2) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 4グループに分かれて意見交換を行った。 ➤ 地域に密着した総合相談窓口、あまり参加できていない相談員も巻き込む、情報集約やスーパーバイズ、相談員の孤立化に対応などが必要という意見などがあげられた。
<p>第8回 平成31年1月28日(月) 10時～11時30分 小田原市役所 601 会議室</p>	<p>『相談支援体制のあり方についての意見交換会』 ～当事者の声を聴く～</p> <p>(1) 基幹相談支援センター等について、相談支援体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1回～6回までで検討してきた内容等を周知。 <p>(2) 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 参加者からそれぞれ意見を伺った。 ➤ 基幹相談支援センターが支援者支援を主に行い、個別ケースを持たない事について周知されたが、当事者からは直接相談に乗ってもらう場所を求める声が出た、普段の計画相談に相談できること、クローバーの役割

	などについての周知が十分にできていない様子がかがえた。
第9回 平成31年2月19日(火) 18時～19時30分 おだわら総合医療福祉社会館 会議室	(1) 第7回、第8回の振り返り ➤ 指定特定、当事者ともに現状のクローバーについての理解が不十分だった。相談支援体制についてもっと周知する必要がある。 (2) 報告書について ➤ 報告書の内容を確認。障害者相談支援事業は1か所で行う形と、地域に配置する形についてどちらが望ましいか検討。相談の継続性や相談員の人数を考えると、1か所で行う形が望ましいという意見が出た。
第10回 平成31年3月12日(火) 18時～19時 おだわら総合医療福祉社会館 会議室	(1) 前回の振り返り (2) 報告書について ➤ 報告書の最終確認を行った。

【県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター共催】

開催日・場所	議題・概要
2市8町相談支援事業所連絡会(第1回) 平成30年5月24日(木) 14時～16時30分 小田原合同庁舎 2階D会議室	『相談支援事業所「報酬改定」これからの経営モデルをひも解く』 貴志園園長・KCN理事長 富岡貴生氏 ➤ 平成30年度の報酬改定について、各相談支援事業所がどのような支援を行うのかアイデンティティを持ち、適切な支援を行い、それに伴う加算をしっかりと請求することで、やりがいのある支援と経営を両立させていくことが考えることができるということなどの講義をうけた。
第1回事例検討会 平成30年8月22日(水) 18時～19時30分 小田原市役所602会議室	『インテーク・アセスメントの方法と専門性①』 貴志園園長・KCN理事長 富岡貴生氏 ➤ アセスメントの専門性を「情報入力のための能動性」と「情報を処理するための構成力」とし、暫定的な支援方針(見立て)を考え支援を実行し、再アセスメントを何度もすることが重要。相談支援専門員はソーシャルワーカーであることを期待されていることなどの講義をうけた。
第2回事例検討会 平成30年10月12日(金) 18時～19時30分 小田原市生涯学習センター けやき第2会議室	『インテーク・アセスメントの方法と専門性②』 貴志園園長・KCN理事長 富岡貴生氏 ➤ 第1回で示されたインテーク、アセスメントシートを各自が作成し参加した。インテークでは事前に何を聞くか準備しておくこと、アセスメントでは仮説(見立て)を立て、それに沿ってわからないことを聞き、改

	めて仮説を修正していくことが大切になるなど、持ち寄った事例を通してながら講義をうけた。
第3回事例検討会 平成30年11月26日(月) 18時15分～19時45分 小田原市尊徳記念館 視聴覚室	『サービス担当者会議①』 綾瀬ホーム・施設長 志賀信道氏 ▶ 所内会議やケア会議を有効に行うために、会議の事前準備の大切さや準備を行う内容、会議運営のポイントなどの講義を受けた。
第4回事例検討会 平成31年1月17日(木) 18時15分～19時45分 小田原市尊徳記念館 視聴覚室	『サービス担当者会議②』 綾瀬ホーム・施設長 志賀信道氏 ▶ 第3回事例検討会の講義を意識して、実際に会議運営のポイントを意識しながら、小グループごとに会議のシミュレーションを行った。

【足柄上地区地域自立支援協議会相談支援部会共催】

開催日・場所	議題・概要
足柄上地区地域自立支援協議会相談支援部会研修会 平成31年1月24日(木) 14時30分～16時30分 大井町保健福祉センター 第1,2会議室	『計画相談支援 報酬改定を学ぶ ～相談支援の体制充実と質の向上に繋げるために～』 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課 生活支援グループ 松浦俊之氏 事業支援グループ 岡崎学氏 ▶ 平成30年度の報酬改定について解説、体制加算の対象になる研修等の周知を行った。

◎就労支援部会

部会長・障害者支援センターぼけっと 渡辺直人

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 平成30年9月14日(金) 16時～17時30分 合同庁舎4F 集団活動室</p>	<p>(1) 今年度の部会運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1回部会開催に際し事前アンケートを実施。 ➤ 圏域(2市8町)の事業所に参加呼掛けを行う。 <p>(2) グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 工賃向上を目標とした課題共有と意見交換。事前アンケートをもとに各事業所の課題を分析。 ➤ 共通の課題に対する改善策の検討。他事業所や関係機関の意見や経験を参考にしながら、より効果的な工賃収入の向上について検討。 ➤ グループ内での意見をまとめ発表する。 <p>(3) 施設外就労について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小田原箱根商工会議所から、施設外就労に関する周知を会報に掲載して行うことへの相談あり。提供する資料案を部会員に確認。 ➤ 企業側とのマッチングの必要性が生じた際には就労支援部会が窓口となる。
<p>第2回 平成30年12月14日(金) 16時～17時 合同庁舎4F 集団活動室</p>	<p>(1) 商工会議所会報における施設外就労の周知について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小田原・箱根商工会議所の10月会報に、障害者の就労支援施設での施設外就労について周知記事を掲載。 ➤ 問合せ窓口は就労支援部会(小田原市障がい福祉課)とし、今後企業からのニーズに応じて事業所とのマッチングを検討する。 <p>(2) 平成29年度工賃実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 28年度実績と比較すると、神奈川県全体での平均工賃は向上しているが、県西地区はわずかに減少。 <p>(3) 工賃向上に関する研修会の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 今年度2月頃に行う「工賃向上につながる経営」をテーマとした研修会について周知。 ➤ 各事業所での取組みの動機付けや参考としていく。 <p>(4) 報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 障害者就業・生活支援センターとしての、就労支援事業所との関わり方について。
<p>第3回 平成31年2月21日(木) 17時～19時 小田原市生涯学習センター けやき大会議室</p>	<p>『就労支援事業所における工賃向上への取り組みに関する研修会～障がい者が地域で生活していくための生活基盤として～』</p> <p>(株)ふくしごと 猪股 春香氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ (株)ふくしごとの概要説明の後、各事業所代表者より事業内容と工賃向上への課題を共有。

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 講義は、以下のテーマに沿ってワークを取り入れながら行われた。 <ol style="list-style-type: none"> ① 工賃向上を実現していくための経営的視点 ② 目標工賃の設定と達成 ③ 全国の高工賃事例のポイント ➤ 研修会終了後のアンケートで、計画を立て目標を見える化することや、ターゲットを絞っていくといった考え方について関心を得ていた。一方で企業からの委託の仕事が多い事業所は具体的方策についてイメージが掴めないといった意見があった。
--	---

【共通アセスメントツール作成ワーキンググループ】

開催日・場所	議題・概要
第1回 平成30年5月31日(木) 15時～14時30分 ぽけっと	(1) 各事業所が実施するアセスメントについて <ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業所によりアセスメントの内容や利用方法は異なる。 ➤ ぽけっとが実施しているワークサンプル実施体験・利用者支援に繋げるための課題抽出や情報整理ツールとして活用できる。 (2) 就労定着支援事業に関すること <ul style="list-style-type: none"> ➤ 現時点ではまだ不明なことが多い。今後要検討。 (3) 今後に向けて <ul style="list-style-type: none"> ➤ 就労系サービス事業所のワーキンググループでは工賃向上を目標とした取組について検討していく。 ➤ 次回はアセスメントや就労定着支援に関することを議題としていく。

【企業等との連携について】

<p>○富士フィルム(株) 物品販売出店周知 富士フィルム(株)内での物販販売に係る説明会について、就労継続支援事業所等に周知を行った。H30年5月より継続的な物品販売に至っている。</p> <p>○小田原箱根商工会議所の会報への掲載による施設外就労の周知 小田原箱根商工会議所の会報10月号に施設外就労についての周知記事を掲載。企業からの問い合わせに対する対応やマッチングの調整を就労支援部会で行った。(株)鈴廣かまぼこからの打診を受け、打合せの場を設けた後、各事業所が作業の見学等を行う状況に至っている。</p>
--

◎子ども部会

部会長・ほうあんホッと相談カフェ 大水健晴

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 平成30年5月31日(木) 10時～12時 小田原合同庁舎 3階 EF 会議室</p>	<p>『感覚を意識した子どもの遊び』 国際医療福祉大学作業療法士 平野大輔氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「療育の質の向上」のために児童通所・計画相談事業所向けに講演。 ➤ 感覚処理の障害について紹介し、療育の中でどのような活動が求められているかを解説。
<p>第2回 (コア会議) 平成30年6月13日(水) 15時30分～16時45分 小田原市役所 教育研究室</p>	<p>◎第3回子ども部会の進行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「教育と福祉の連携」の推進が目的。連携に関する好事例の紹介、グループワークを中心に考えていく。 ➤ 教育関係者が初めて部会に参加するので、事業所紹介やサービス利用までの手続きなどの周知も行う。
<p>第3回 平成30年7月25日(水) 13時30分～15時 小田原養護学校食堂</p>	<p>『教育と福祉の連携について』</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 障害福祉サービスの申請から利用まで ➤ 相談、見学、契約まで流れを説明 (2) 放課後等デイサービス事業者の取り組み ➤ 9事業所が事業所紹介を行った。養護学校が作成している放デイ事業所の紹介冊子を配布。 (3) 保育所等訪問支援事業の説明及び報告 (4) 教育と福祉の連携(事例紹介) ➤ 重度自閉症女児。学校が児童、家族の対応に苦慮していたが、放デイと学校が連携、情報交換を行った上で保護者と良く話し合ったことで、児童に安定した支援を行えるようになった事例を発表。 (5) グループワーク ➤ 9グループに分かれ、事例の感想や連携における課題などを話し合う。 ➤ 教育・福祉関係者が直接話し合えたことが有意義な時間であったという感想が多数集まった。
<p>第4回 (コア会議) 平成30年10月31日(水) 13時30分～15時30分 小田原養護学校応接室</p>	<p>◎第5回子ども部会の進行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「療育の質の向上」が目的。「障がい児のこだわり」について講演。 ➤ 児童の発達段階、年齢別にどのようなこだわりがあり、どのような対応が望まれるかということについて解説をしてもらう。
<p>第5回 平成31年1月30日(水) 10時～12時 小田原合同 庁舎 3階 EF 会議室</p>	<p>小田原養護学校・臨床心理士 宇佐見大輔 教諭 「障がい児のこだわり」について講演予定であったが、講師の体調不良のため中止。</p>

第6回（コア会議）

平成31年3月7日（木）

13時～14時

小田原市役所大会議室

（1）今年度の振り返り

- 【成果】部会メンバーとして教育指導課、子育て政策課、小田原養護学校など、様々なメンバーで話し合うことができるようになった。小田原養護学校で行われる公開講座の場を活用し、教育関係者と福祉関係者が集まれる場を作ることができた。
- 【反省点】研修や講演が実際にどのように活かされているのか不明瞭。

（2）来年度以降の運営について

- 平成31年度は「課題抽出機能」と「課題解決機能」をより効率化させるため、「療育の質の向上」と「教育と福祉の連携」について、課題をより具体化し、明確な到達目標と解決策を決めていく。

◎権利擁護部会（障害者差別解消支援地域協議会実務者会議兼）

部会長・神奈川県知的障害福祉協会県西地区施設長会 関正明

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 平成30年8月6日（月） 14時～15時45分 小田原市役所 議員会議室</p>	<p>(1) 前年度までの活動報告 (2) 今後の取り組みなどのアイデア出し (3) グループ毎意見交換・全体で共有</p> <p>➤ グループワーク形式で部会の取り扱うべき課題のアイデア出しを行い、今後の取組みについて意見交換を行った。全グループで、“当事者の声の重要性”について意見が一致。</p>
<p>第2回 平成30年11月6日（火） 14時～15時45分 小田原市役所第4委員会室</p>	<p>(1) 当事者の声の収集について、内容や手法のアイデア出し (2) グループ毎意見交換・全体で共有</p> <p>➤ 権利擁護に関する“当事者の声”について、具体的に聞いてみたい内容や手法についてアイデア出しを行った。</p>
<p>第3回 平成31年2月27日（水） 14時～15時45分 小田原市役所 議員会議室</p>	<p>(1) 当事者の声の収集について、ターゲットや時期について全体で意見交換</p> <p>➤ 平成31年度に、話しやすい空間設定など、聞き方に配慮した座談会形式で当事者の声を聴く場を作り、報告書の作成を行う。</p> <p>(2) 差別事案の事例検討</p> <p>➤ 聴覚障害者の合理的配慮の提供事例について検討、相談支援の立場や地域性なども含めて考える必要があるとの意見も出た。</p>

開催日・場所	議題・概要
<p>第1回 平成30年7月12日(木) 10時～11時30分 生涯学習センターけやき 第4会議室</p>	<p>(1) 平成30年度の目標とスケジュールについて (2) 今年度のワーキンググループについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 課題整理のためグループワークを実施、今後の取り組みなどのアイデア出し、意見交換と共有を行った。 ➤ 現在の課題としては、①他分野との連携不足、②精神障がいへの理解不足、普及啓発の必要性、③地域生活を続けるための地域定着支援（地域住民への対応など）、民間事業所（不動産など）との連携が挙げられた。 ➤ 平成30年度は、精神障害者に対応した地域包括システムについて理解を深めつつ、多機関との相互理解を図っていくこととなる。
<p>第2回 平成30年12月26日(水) 13時30分～16時 小田原合同庁舎 4階2E会議室 (保健福祉事務所共催)</p>	<p>『地域包括ケアシステム』に関する研修会 広域アドバイザー 吉澤浩一氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括ケアシステムについて講演 ● グループワーク（よりよい連携のためのワーク） <p>参加者・部会員、1市3町のヘルパー事業所、就労系事業所、計画相談員、包括支援センター、ケアマネなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 精神障害者を取り巻く多職種が集まり、事例検討と演習を通して、互いの仕事を理解することができた。アンケートの満足度も高かった。 ➤ 特に高齢分野（包括）からの参加が多く、8050問題を含むモデルケースで事例検討したため、高齢分野の支援者ともつながることができた。
<p>第3回 平成31年3月22日 10時～11時30分 小田原市役所502会議室</p>	<p>(1) 今年度の取り組みの振り返り (2) 平成31年度の取り組み及び課題確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 研修会を通して地域包括ケアシステムの理解が進み、グループワークを行ったことで多職種連携の重要性を再確認することができた。 ➤ 平成31年度は地域包括ケアシステムの1市3町エリア版の社会資源マップの作製をする。合わせて、普及啓発及び地域定着についても取り組んでいく。